

第66号

発行:令和8年4月

会員数:130名(3月末現在)

(家族会員=12名、個人会員=118名)

発行責任者:田中 恆(ひさし)

編集責任者:出口 孝次

松浦武四郎記念館友の会

友の会だより

友の会事務局:

松阪市小野江町 383

松浦武四郎記念館内



「友の会」のHPは、松阪市HPの中にあります。

観光文化スポーツ → 文化情報・施設 → 松浦武四郎記念館 → 「松浦武四郎記念館友の会について」で検索してくださいね。

カラーで見ることができますよ。

「巻頭言」 松浦武四郎記念館友の会会長 田中 恆

私は令和4年の5月8日の総会にて新会長に就任させて頂きました。新役員は8名と顧問として前会長の飯田秀様にアドバイスを賜り会を進めてまいりました。4年間、会長としていろんな会合や武四郎の顕彰についての会合等に参加し、コロナ禍で出来ないことがあったときにもそれを乗り越えてまいりました。

昨年は、偉人たち展が無かったりしましたが、恒例の「武四郎ゆかりの神鏡を訪ねる旅」を実施し、37人のみなさんで大阪府高槻市にある上宮天満宮に行く事が出来ました。午後は、大阪市内にある「造幣局」を訪れ、学芸員から「松浦武四郎ゆかりの事実を報告頂くことができ、感激いたしました。特に貴重なもの

である明治期に作られたメダルを出して見せてくださいました。これは、松浦武四郎の婿養子となった一雄さんがてがけた事が資料から分かったということで、明治期に加納夏雄の弟子として造幣局で働いていた記録が残っていたのだそうです。そのあと、お金の工場や古い小判などを展示した「造幣博物館」も見せて頂く事が出来ました。

12月には、久しぶりに「意見交換会」を実施し、講座の後残ってくださった方々とお話しすることが出来ました。

2月22日の日曜日に開催された「武四郎まつり」には、快晴のあたたかい日でもあり、たくさんの方が参加して頂きました。(主催者発表5,800人)友の会も、ブースを出しましたので、見て頂いた方もあったと思います。真覚寺の案内もさせていただいたのですが、多くの人でにぎわいとでも忙しく大変でした。

松浦武四郎の業績を分析していると5つに分けられるのではと考えています。

- ① 親からの資金と篆刻による資金の調達：篆刻作りの名人……1日に100個の制作
- ② 絵が得意……アイヌ民族の暮らしを紹介した「蝦夷漫画」
- ③ コレクター……古書、骨董、古材(一畳敷きの書斎の材料)
- ④ ヒューマニスト……文化の異なる民族に偏見を持たず、親交を深め、窮状を聞き取ったルポ
「近世蝦夷人物誌」
- ⑤ 体力……28歳から41歳まで蝦夷地探検を6回行う。70歳にして富士山へ(一合目から頂上へ登った)
今後も、武四郎さんに学んでいきたいものです。

「武四郎まつり」大盛況!

第31回武四郎まつりが2月22日の日曜日に開催されました。

天候にも恵まれ約5800人(主催者発表)が松浦武四郎記念館を中心に訪れ、武四郎さんの偉業やアイヌ文化に触れた1日となりました。

特設ステージでは、地元小中学生による吹奏コンサートや踊り、劇、札幌大学ウレシクラブによるアイヌ古式舞踊などが披露され、45脚用意された長椅子はすべて埋まり、立ち見の人も多くいました。



飲食エリアや物産エリアには、テントが立並び、人気のテント前には長い行列ができていました。また暖かい日差しの中、思い思いの場所でたくさんの方が飲食を楽しんでいました。

友の会もブースを設け、友の会役員で分担してお客様を出迎えました。友の会役員の出口孝次さんが作られた拓本（威徳天満宮などの石標と大台ヶ原の石標）、武四郎さんが奉納した神鏡を訪ねた時の写真などを展示しました。また友の会入会の勧誘も行ないました。

『夕張日誌』で武四郎さんのことを学んでいるという北海道から来られた男性は「武四郎さんが生まれた月を記念してたくさんの方が集い、祭りが開催されているとはすばらしい。いいですねえ、私の地元夕張でも、武四郎さんが夕張を訪れた日を記念して、何か催しができればと思っています」と話され、友の会にも入会していかれました。

武四郎記念館の館内にもたくさんの方が入館し、特に『武四郎涅槃図』の前には立ち止まり、学芸員の方などの説明に耳を傾ける多くの方がいました。

武四郎記念館と誕生地は、入場無料にしてもらってありました。

真覚寺はお寺の内部を特別公開して、担当を友の会役員が行ないました。沢山の方でにぎわい、その対応に大変なほどでした。

お祭りに参加された会員の皆様ありがとうございました。今年は残念ながら来ることが出来なかった方も、毎年2月の最終の日曜日が武四郎まつりですので、ぜひ遠くからも来ていただけたら幸いです。

（齋藤和子）

「アイヌ文化体験交流会」を久しぶりに ハートフル三雲で開催しました!

武四郎まつりの前日、2月21日の土曜日には、北海道からお招きしたウレシパクラブの方々とのアイヌ文化体験交流会が開催されました。

例年は、みえこどもの城で行ってきましたが、改装工事中とのことで、久方ぶりに最初行っていたハートフル三雲での開催となりました。思ったよりも沢山の参加者があり、大変なにぎわいの中で楽しい時間を過ごすことができました。目の前で繰り広げられるアイヌ古式舞踊など若い学生さんたちが日頃の練習の成果を存分に見せてくださいました。また、参加者を巻き込んでの舞踊体験はとっても楽しく笑顔一杯でした。

参加して下さった方ありがとうございました。来年は、こどもの城での開催になるかもしれませんが、ぜひホームページやチラシ・ポスターにてお確かめ下さい。



令和7年12月14日(日)の友の会意見交換会でのご意見をまとめました

1・・・これまで良かったこと

- ・北海道エゾヤマザクラが毎年咲いている。
- ・武四郎さんの和歌が記念館前に石碑として残った。
- ・講座も会員の参加により盛会で継続している。
- ・武四郎講座にはじめて講座に参加した時から、月1回の講座を楽しみにしている。
- ・学芸員が3名となり、それぞれが違った観点で話をされ、講座内容の幅が広がりよかった。
- ・神鏡をたずねる旅を毎年楽しみにしている。今回、たんなる参拝・見学ではなく、友の会の訪問によって、調査・研究がなされ、その説明をきくことができよかった。
- ・武四郎ゆかりの旅で、造幣局見学はみんながみんな満足をしていた。



2 これからの活動について

- ・令和8年度、バスツアー神鏡を訪ねる旅、
- ・学芸員も館長含め3名体制となり益々充実してきている。更に部屋も狭くなってきているので、松阪、津のケーブルテレビとも連携し、全国の方々にも視聴してもらえると嬉しい。
- ・過去にも時々実施していただいているが、関係している施設の方々にも講師をしてもらえると良い。
- ・友の会の会員には、有能な方々が多くおられます。役員や多くの方々にも主役になっていただき、講師をするのはどうか。
- ・学芸員以外の方の話もきけるよう、記念館に会として希望を出し企画してもらってはどうか。
- ・遠方ですが、太宰府へも2~3泊で計画をしてもらいたい。
- ・ぜひ、東照宮や太宰府天満宮へも行きたいです。特別企画として、ご神鏡の旅、お願いします。
- ・北海道 2泊3日 東京行き 静嘉堂 江戸東京博物館 神田五軒町
- ・令和6年の擬革紙づくり、8年度もいきたいとの声あり、
- ・会員の多くの方が、ツアーで、生きている間に北海道に行きたい。
- ・ツアーで伊勢街道の名所めぐり。会員の体力を考慮して、
- ・25ある天満宮どうしのつながりが、友の会の「神鏡をたずねる旅」をきっかけに深くなればよい。
- ・友の会の会員を増やす声かけが必要。
- ・武四郎に関する意見箱を講座の時にどうするか？
「御意見ポスト月間」次の講座の時に皆さんに伝える。
- ・エゾヤマザクラの管理徹底を考えてみてはいかがでしょうか
- ・武四郎のブース展示をもう少し考えてみてはどうか？



令和8年度の目標として

1. 北海道散策路の計画
2. 東京日本橋の両国博物館
3. 奈良県の吉野及び長谷寺
4. 梅の月ヶ瀬散策路コースはいかがでしょうか？
5. 三井寺 国城寺 ナベズカ (半日コース)

ご高齢者が多い為、楽なコースが良いと思います



今後、役員会にて話し合い、少しでも実現できるようにしていきたいと思っております。すぐにはできないこともありますので、ご理解頂ければ幸いです。

【記念館からのお知らせ】

武四郎講座(毎月第2日曜日の午前10時から11時ごろまで開催)

- 4月12日 「武四郎の蝦夷地調査」
講師:世古 詩央里(松浦武四郎記念館 学芸員)
- 5月10日 「幕末蝦夷地の博物誌 蝦夷訓蒙図彙を読み解く」
講師:佐藤 圭祐(松浦武四郎記念館 学芸員)
- 6月14日 「樺太に伊勢神宮・熱田神宮を建てる？」
講師:山本 命(松浦武四郎記念館 館長)
- 7月12日 「武四郎の江戸での生活 その2」
講師:世古 詩央里(松浦武四郎記念館 学芸員)
- 8月 9日 「武四郎の第1回蝦夷地調査『初航蝦夷日誌』を読む」
講師:佐藤 圭祐(松浦武四郎記念館 学芸員)

☆展示会のご案内

- 4月10日(金)~6月21日(日) 企画展「武四郎の蝦夷地調査」
- 6月26日(金)~9月 6日(日) 企画展「幕末を生きた武四郎」

☆松浦武四郎記念館
および

松浦武四郎誕生地の
無料開館のお知らせ
ぜひお越しください。

4月18日(土)・19日(日)
「三重県誕生150周年」
・「県民の日」を記念した無料開館

4月17日(金)
「北海道みんなの日」
を記念した無料開館

【友の会からのお知らせ】

「友の会総会」を実施します。

2026年5月10日(日) 11:00~11:50

※多目的室(武四郎講座の後で)

10時からの武四郎講座には、会員の方々は受付だけで入れます。皆様よろしくお願ひします。

会費納入のお願い

令和8年度の年会費 **500円**を、総会の日^に集金します。なるべく早く納付いただきますようお願いいたします。今後、口座振込みをご希望の方は、記念館事務局 0598-56-6847 へお問い合わせください。

会員募集のお願い

お友達で友の会へ入ってくださる方がいたら教えてください。もっと多くの仲間と松浦武四郎さんの魅力を語り合いたいものです。

次回の発行は、
8月の予定です。

